平成28年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月30日

上場会社名　日本ギア工業株式会社　上場取引所　東

コード番号　6356　ＵＲＬ　http://www.nippon-gear.jp

代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）寺田　治夫

問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　（氏名）林　秀樹　ＴＥＬ　0466-45-2100

四半期報告書提出予定日　平成27年11月11日　配当支払開始予定日　平成27年12月４日

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成28年３月期第２四半期の業績（平成27年４月１日～平成27年９月30日）

（１）経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年３月期第２四半期	4,176	0.7	312	180.4	310	171.4	209	181.8
27年３月期第２四半期	4,147	2.0	111	△23.1	114	△31.3	74	△28.6

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年３月期第２四半期	14.75	－
27年３月期第２四半期	5.23	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年３月期第２四半期	9,986	6,653	66.6	468.81
27年３月期	10,452	6,500	62.2	458.06

（参考）自己資本　28年３月期第２四半期　6,653百万円　27年３月期　6,500百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年３月期	－	2.00	－	3.00	5.00
28年３月期	－	2.00			
28年３月期（予想）			－	－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では平成28年３月期（予想）の当該基準日における配当予想額は未定としております。

３．平成28年３月期の業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	△7.2	410	△26.1	400	△28.1	280	△19.2	19.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年３月期２Ｑ	14,280,000株	27年３月期	14,280,000株
②　期末自己株式数	28年３月期２Ｑ	88,335株	27年３月期	88,094株
③　期中平均株式数（四半期累計）	28年３月期２Ｑ	14,191,743株	27年３月期２Ｑ	14,196,974株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、消費者マインドの持ち直しに足踏みがみられましたが、個人消費は総じて底堅い動きとなっております。また企業の設備投資計画も増加傾向にあり堅調に推移しております。海外経済は米国を中心とした先進国で回復が続いており、アジア新興国等において弱さがみられるものの、全体としては緩やかではありますが回復基調が継続しております。

当社のセグメント別受注概況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・コントロールの大幅な減少及びその他の増減速機の減少を、需要が堅調だったジャッキでは補いきれず、受注は減少いたしました。歯車につきましては自動車用を初めとする各種歯車の大きな落ち込みにより受注は減少いたしました。これにより歯車及び歯車装置事業としての受注は大幅に減少いたしました。工事事業では原子力発電所より若干の保守業務が発生したことから、受注は増加いたしました。

以上の結果、当第２四半期累計期間の受注高は40億85百万円（前年同期比10.5％減）、売上高は41億76百万円（前年同期比0.7％増）となりました。一方、第２四半期会計期間末の受注残高は32億78百万円（前事業年度末比2.7％減）となりました。

損益面につきましては、原価低減、経費削減に努めた結果、営業利益は３億12百万円（前年同期比180.4％増）、経常利益は３億10百万円（前年同期比171.4％増）、四半期純利益は２億９百万円（前年同期比181.8％増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業のうち、バルブ・コントロールの受注高は、石油向けが増加したものの、原子力発電所、輸出、鉄鋼向けが減少したことにより、前年同期比15.0％減少しました。売上高は、火力発電所、上下水道、石油向けが減少したものの、原子力発電所、補修用部品、紙パルプ向けが増加したため、前年同期比5.7％増加いたしました。ジャッキにつきましては、設備投資の緩やかな回復基調を受け、受注高は前年同期比8.4％増加いたしました。売上高も自動車、産業用機械、ＩＴ関連向けが増加したため、前年同期比8.3％増加いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比6.8％減少、売上高も前年同期比17.9％減少いたしました。歯車の受注高及び売上高は、自動車用、建設機械用、鉄道・船舶用、その他産業機械用が大きく落ち込み、受注高は前年同期比39.2％減少、売上高は前年同期比18.8％減少いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比15.1％減少、売上高も前年同期比2.2％減少いたしました。

工事事業につきましては、受注高は火力発電所及び上下水道向けが減少いたしましたが、原子力発電所向けが増加したため、前年同期比0.7％増加いたしました。売上高は火力発電所、原子力発電所及び石油化学向けが増加したため、前年同期比8.4％増加いたしました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ３億88百万円減少し72億７百万円となりました。これは主に現金及び預金が４億50百万円増加いたしましたが、売上債権が８億14百万円、たな卸資産が23百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ78百万円減少し27億78百万円となりました。これは主に無形固定資産が24百万円、前払年金費用が14百万円増加いたしましたが、有形固定資産が１億５百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ４億72百万円減少し22億91百万円となりました。これは主に仕入債務が２億74百万円、１年内返済予定の長期借入金が８百万円、賞与引当金が２百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ１億46百万円減少し10億41百万円となりました。これは主に社債が40百万円、長期借入金が27百万円、退職給付引当金が57百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ１億52百万円増加し66億53百万円となりました。これは主に利益剰余金が１億66百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末に比べ４億50百万円増加し27億２百万円となりました。当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、７億２百万円（前年同四半期比575.7％増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益３億18百万円、減価償却費１億59百万円、売上債権の減少８億18百万円等の収入に対し、仕入債務の減少２億74百万円、法人税等の支払額54百万円等の支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、75百万円（前年同四半期比43.0％減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出71百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、１億77百万円（前年同四半期23.1％増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入１億円に対し、長期借入金の返済による支出１億36百万円、リース債務の返済による支出58百万円、社債の償還による支出40百万円、配当金の支払額42百万円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年10月28日に公表しました数値から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成27年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,252,340	2,702,392
受取手形及び売掛金	3,197,550	2,382,915
商品及び製品	92,431	135,545
仕掛品	593,733	551,783
原材料及び貯蔵品	1,193,558	1,169,381
その他	265,933	265,107
流動資産合計	7,595,547	7,207,126
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他（純額）	1,144,243	1,038,575
有形固定資産合計	2,157,534	2,051,866
無形固定資産	95,035	119,688
投資その他の資産		
投資有価証券	543,140	524,260
前払年金費用	－	14,606
その他	66,680	73,739
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	604,621	607,406
固定資産合計	2,857,191	2,778,961
資産合計	10,452,738	9,986,087
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,531,408	1,256,939
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	230,000	221,600
未払法人税等	62,260	117,331
賞与引当金	304,387	302,061
その他	555,349	313,437
流動負債合計	2,763,406	2,291,370
固定負債		
社債	40,000	－
長期借入金	574,000	546,400
退職給付引当金	57,030	－
役員退職慰労引当金	735	－
環境対策引当金	23,541	23,541
資産除去債務	195,066	195,142
その他	298,165	276,493
固定負債合計	1,188,538	1,041,576
負債合計	3,951,944	3,332,946

（単位：千円）

	前事業年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成27年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	4,116,206	4,282,932
自己株式	△32,367	△32,475
株主資本合計	6,320,987	6,487,605
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	179,807	165,535
評価・換算差額等合計	179,807	165,535
純資産合計	6,500,794	6,653,140
負債純資産合計	10,452,738	9,986,087

（２）四半期損益計算書

（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
売上高	4,147,114	4,176,860
売上原価	3,064,501	2,941,369
売上総利益	1,082,612	1,235,490
販売費及び一般管理費	971,317	923,428
営業利益	111,295	312,061
営業外収益		
受取利息	124	132
受取配当金	6,267	6,937
その他	9,697	3,922
営業外収益合計	16,089	10,992
営業外費用		
支払利息	12,438	11,174
その他	521	1,277
営業外費用合計	12,960	12,451
経常利益	114,424	310,602
特別利益		
固定資産売却益	4,939	－
受取補償金	－	7,522
特別利益合計	4,939	7,522
税引前四半期純利益	119,363	318,125
法人税等	45,095	108,823
四半期純利益	74,268	209,301

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	119,363	318,125
減価償却費	147,622	159,577
受取利息及び受取配当金	△6,392	△7,069
支払利息	12,438	11,174
為替差損益（△は益）	△13	0
有形固定資産売却損益（△は益）	△6,281	－
有形固定資産除却損	137	62
賞与引当金の増減額（△は減少）	△143,649	△2,326
退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	△80,629	△71,637
売上債権の増減額（△は増加）	316,411	818,367
たな卸資産の増減額（△は増加）	△22,317	23,012
仕入債務の増減額（△は減少）	△160,147	△274,469
その他	78,210	△214,013
小計	254,752	760,805
利息及び配当金の受取額	6,392	7,069
利息の支払額	△12,385	△10,888
法人税等の支払額	△144,728	△54,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,030	702,969
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	8,200	－
有形固定資産の取得による支出	△117,848	△71,949
無形固定資産の取得による支出	△8,902	△600
資産除去債務の履行による支出	△10,650	－
投資有価証券の取得による支出	△2,343	△2,184
その他	△128	△321
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131,672	△75,055
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△153,000	△136,000
リース債務の返済による支出	△56,934	△58,915
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△1,095	△107
配当金の支払額	△43,455	△42,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,484	△177,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△172,113	450,052
現金及び現金同等物の期首残高	1,971,836	2,252,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,799,722	2,702,392

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第２四半期累計期間（自平成26年４月１日　至平成26年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3,001,383	1,145,731	4,147,114
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	3,001,383	1,145,731	4,147,114
セグメント利益又は損失（△）	△43,518	154,813	111,295

（注）セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期累計期間（自平成27年４月１日　至平成27年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,934,624	1,242,235	4,176,860
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	2,934,624	1,242,235	4,176,860
セグメント利益	28,204	283,857	312,061

（注）セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。